

開講年度・学期	2017年度・前期	授業形態	講義
科目名	経済法	科目ナンバー	JASOC2203
英語表記	Competition Law	担当教員	和久井 理子
単位数	2		
<b>科目の主題</b>			
<p>企業間の活発な競争は、価格の低下、品質・サービスの向上、顧客のニーズにあった商品の開発など、様々な利益を消費者にもたらす。独占禁止法はこのような競争を維持し促進するための法律であって、カルテル、入札談合や企業結合などを規制している。本講義では、経済憲法ともいわれる独占禁止法の主要規定（3条、19条、第4章（企業結合規制））を講義形式により学ぶ。</p>			
<b>授業の到達目標</b>			
<p>独占禁止法ないし競争政策の基本的な考え方を学ぶとともに、これらを具体的事例に応用する力を習得する。</p>			
<b>授業内容・授業計画</b>			
第1回	独占禁止法入門（1）（独禁法の目的、企業の戦略的行動（競争排除行為・競争回避行為）、主要な規定と相互の関係）		
第2回	独占禁止法入門（2）（独禁法の歴史、公正取引委員会の組織、独禁法違反に対する法的サンクション）		
第3回	企業結合規制（1）（企業結合とは、規制の意義）		
第4回	企業結合規制（2）（市場画定、水平型企业結合）		
第5回	企業結合規制（3）（垂直・混合型企業結合、事前届出制・企業結合審査手続）		
第6回	不当な取引制限の禁止（1）（意義、具体例、規制の概要）		
第7回	不当な取引制限の禁止（2）（要件など）		
第8回	不当な取引制限の禁止（3）（課徴金納付命令、課徴金減免制度）		
第9回	公正取引委員会の法運用実務について		
第10回	私的独占の禁止（規制内容と事例の検討）		
第11回	不公正な取引方法の禁止（1）（総論、取引拒絶の規制）		
第12回	不公正な取引方法の禁止（2）（差別的取扱い、不当廉売規制）		
第13回	不公正な取引方法の禁止（3）（再販売価格の拘束、拘束条件付取引）		
第14回	不公正な取引方法の禁止（4）（排他条件付取引、抱き合わせほか）		
第15回	まとめ、質疑応答等		
<b>事前・事後学習の内容</b>			
<p>日ごろから経済法に関する事例に関心をもつようにしておいてください。事後には、関連する部分や事例を読むとともに、適宜事例問題を解くなどして応用力を養うよう心掛けてください。</p>			
<b>評価方法</b>			
<p>定期試験による。</p>			
<b>受講生へのコメント</b>			
<p>特になし。</p>			

**教材**

教科書：川濱昇・泉水文雄・瀬領真悟・和久井理子『ベーシック経済法〔第四版〕』（有斐閣、2014年）。  
参考書：『(別冊ジュリスト) 経済法判例審決百選』（有斐閣、2010年）

**その他****履修可能最低年次**

2年次生以上